

令和4年1月19日

国立大学法人北海道国立大学機構大学総括理事候補者について

長谷山彰理事長予定者は、本日、国立大学法人北海道国立大学機構合同理事長選考会議において、大学総括理事として下記の者を任命することについて意見を聴き賛同を得たことから、同人を大学総括理事候補者として文部科学大臣へ申し出ることとした。

記

1 現職等・氏名・任期

国立大学法人小樽商科大学長・穴沢 眞

令和4年4月1日～令和6年3月31日

前国立大学法人帯広畜産大学長・長澤 秀行

令和4年4月1日～令和8年3月31日

国立大学法人北見工業大学長・鈴木 聡一郎

令和4年4月1日～令和6年3月31日

2 選任理由

令和4年4月に新たに設置される北海道国立大学機構のミッションは、北海道経済・産業の発展と国際社会の繁栄並びにSDGsに示された持続可能な社会の実現に貢献するため、北海道内の実学を担う国立大学の教育研究機能を強化し、教育研究に対する国民の要請に応え、我が国の高等教育及び学術研究の水準向上を図ることである。

上記のミッションを達成するためには、設置する小樽商科大学、帯広畜産大学、北見工業大学を円滑に運営するとともに、法人経営の強化策と三大学

の教育研究の充実方策を一体的に推進できる体制が不可欠であり、三大学の学長の職務を担う大学総括理事の役割は極めて重要である。

この度選任した三名の大学総括理事候補者は、各大学の学長としての経験を有し、優れた見識とリーダーシップを備え、社会の動向に応じた的確な大学運営、社会の要請に基づく教育研究機能の高度化、地域・国際貢献活動の積極的推進等を通じて、北海道発展に資する数多くの実績を上げていることから、新たにスタートする北海道国立大学機構の大学総括理事として最も適任であると判断した。